



おきのしま



写真は中沼了三杯・横地治男杯 隠岐少年武道大会の様子

○3月定例会報告・・・P2

○予算をチェック(質疑)・・・P4

○7人の議員が町政を問う(一般質問)・・・P8

○こんな議論がされました(委員長報告)・・・P12

○賛成討論・反対討論・・・P14

○採決の状況・・・P16

「平成」最後の議会

当初予算で混乱！

議長により裁決

3月定例会は、3月4日から15日まで開催され、新年度当初予算の外平成30年度各会計の補正予算、条例改正、工事請負変更契約等39件が提案され、全ての議案を可決した。

しかし、新年度一般会計当初予算の「寺の前公園整備事業」と「ジオパーク中核・拠点施設整備事業」に3名の議員が反対討論を、また、1名の議員が賛成討論を行ったが賛成した議員7名、反対した議員7名と可否同数となり、※地方自治法第百十六条第一項の規定による議長裁決となり、当初予算は可決された。

一般質問には7名の議員が町政を質し、議案には9名の議員が質疑をおこなった。

【注】当初予算の概要については町発行の広報誌5月号をご覧ください。

今号は、当初予算審議の中で、特に議論のあった事業及び新規事業等の一部を掲載します。

【参考】

■地方自治法

第百十六

条第一項とは

地方議会での議案採決の際に可否が同数となった場合は、地方自治法の第百十六条の第一項に、議長が最終的な判断をすることが定められている。

主な事業

◇役場庁舎整備事業

31億1212万円

新庁舎の建築主体工事や機械設備・電気設備・敷地造成工事のほか、書庫のロッカー・机などの備品整備の費用。

工事費は約29億1000万円、備品整備費は1億5000万円となっている。

総事業費は、約40億円の見込み。

◇ジオパーク中核・拠点施設整備事業

5億4891万円

ジオパーク拠点施設は平成31年度で完成する予定だったが、建設予定地に障害物があり、杭を含めた基礎工事と展示施設部分の経費が増額となり、計画変更した。

当初計画は約9億円の予定だったが、事業費は約15億円となり、建設を31年度と32年度の2カ年で実施することにした。

31年度は5億4891万円、32年度は8億3230万円、総事業費は15億2097万円となっている。



ジオパーク中核・拠点施設の建設用地

◇寺の前公園整備事業

1億450万円

寺の前公園を、社会資本整備交付金と都市公園再編事業債（借金）で遊具などを整備するもの。

本町では、公園整備を行うため、「隠岐の島町公園整備基本計画」を策定中である。

本計画案の整備方針では、「町の中核となる公園は、寺の前公園とし、ま」と設定している。



中核となる公園は必要か？

しかし、平成27年に策定した「隠岐の島町まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、隠岐の自然を活かした遊び場づくりとして、「設置場所は、中心部から交通インフラが整備され駐車場も完備していること、また、採算性からも、自然体験・食事・バーベキュー・宿泊等、一体化した複合施設が望ましいことから、現在の都万あいランドパークが望ましい。」となっており、この度の公園整備基本計画は「総合戦略」との整合性がなく課題となっている。

新年度当初予算(一般会計) 過去最大の191億5千万円

お金の使いみち(性質別経費)

【投資的経費】

63億7100万円

道路や公共施設などの生活産業基盤の整備を行う経費。
・国県補助事業
・県営事業負担金
・町単独事業

【補助費】

28億7600万円

消防・病院・介護保険などの広域行政(隠岐広域連合等)に対する負担金の外、各種団体に対する補助金等

で、広域連合負担金は、超高速船・フェリー管理費など。
また、隠岐航路・航空路旅客運賃助成事業などの経費。

【公債費】

23億4500万円

町債(借金)を返済(償還金)するための元金と利子にかかる経費。

【人件費】

21億6200万円

町三役ほか、議員、職員(237名)の人件費総額。



【扶助費】

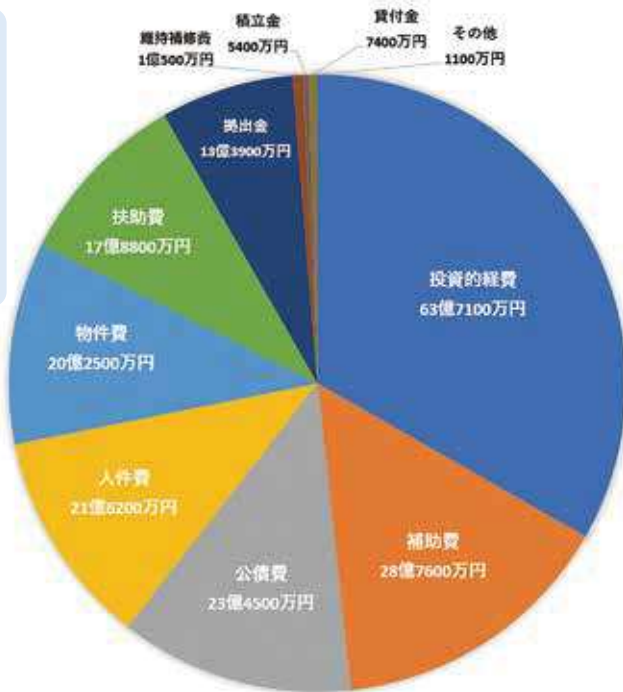
17億7880万円

児童福祉・老人福祉など社会保障制度に基づくもので、私立保育所運営費・生活保護費・児童扶養手当など。

【物件費】

20億2500万円

事務事業に必要な消費的経費の経費で、賃金・旅費・需用費・委託料など。
特に、近年は、公的施



新しい事業

◇隠岐の島町福祉施設職員就労支援助成金制度がスタート

2000万円

本町では、介護・障がい者福祉施設・保育所などで人材不足が深刻化しており、町内の民間福祉施設に就職する新規卒業生、U・Iターン者に対して就労支援助成金を支給して人材確保を図る。
対象となる職種は、介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員・保育士・看護師・准看護師で、対象者一人当たりの助成金は、年額24万円を本人に支給するもの。
その他、介護職員等子育て支援代替職員費補助制度も、出産・育児休業から復帰した介護職員等が短時間勤務制度等を活用できるよう民間業者が代替職員を雇用した時、経費の一部を助成する。(いずれも、国への届け出をしている施設のみ)

◇隠岐島油槽所改修工事費

3180万円

隠岐島油槽所は、隠岐郡内の石油製品の安定供給を図るため設置されてから9年が経過し、構内各所に経年劣化等による不具合が生じてきており改修工事を行う。併せてドラム缶へ直接注入できる設備を設置する。

継続事業

◇集落地域活性化補助金
2975万円

町内の各集落に対して集落の維持・活動等にかかる経費を助成し地域の活性化を図るもので、地域が取り組むソフト事業や集会所の維持管理費等が対象となる。

補助額は、15万円＋人口割。

※近年、活用する区や自治会が減少してきており積極的に活用してほしい。

予算・条例等をチェック!

質疑

質問した議員

平田	文夫	高宮	陽一
安部	大助	村上	謙武
村上	三三郎	福田	晃
池田	賢治	西尾	幸太郎
米澤	寿重		

生活バス路線対策 事業は

平田議員 地方創生のまちづくりの交通事業

は、地方公共団体と、民間住民団体等が連携し、コミュニティバス運行強化が求められているが、なぜ対応しないのか。

観光課長 国土交通省の情報は確認している



地域公共交通のあり方は?

が、本町はコミュニティバスに近い運行をしている。

平田議員 新年度の予算でも地域公共交通再編事業費が計上されているが、時間がかかりすぎでは。

観光課長 地域の実情の確認や調査で時間を費やしている。

平田議員 地域公共交通会議の第一章に、地域

公共交通会議の効果、効率のな運営と、一番目には地域公共交通に関するPDCAサイクルの検証を求めているが。

観光課長 そのような認識をもつて進めたい。31年度の早い段階での策定を考えている。

ジオパーク中核拠点施設の場所の再検討は

高宮議員 この事業は用地の問題があつて平成31年度、32年度に変更のこと。また、事業費も当初計画の9億円から15億円とのことだが詳細説明を。

観光課長 昔の岸壁で想像以上の地中障害物があり、杭を含めた基礎工事と展示施設部分の経費が増額となった。

高宮議員 この用地は、適地を求めるとのことで調査をしていたはずだが。

観光課長 ボーリング調査までは行っていないが、**高宮議員** 市街地活性化計画が頓挫している中

で町の玄関口の将来像が見えてこない。幾ら国県の財源で整備すると言つても、このような多額の財源が必要となると、建設場所も再検討すべきでは。

観光課長 平成27年11月からユネスコの世界正統事業となり、隠岐4町村の総合振興計画、県の総合発展計画、また離島振興計画等との整合性を確保しつつ事業を進めている。

高宮議員 個々の考えは分かるが、市街地活性化計画を策定し取り組むべきであり慎重に取り組んでいただきたい。

「レストランうみさち」の指定管理は

高宮議員 「レストランうみさち」のその後はどうなっているか。

観光課長 未だに運営者がいない状況であり、都万支所とも連携して模索している。島外の事業者にも施設を見ていただいたが成立には至らなかった。

地元就職を促進する 補助金の効果と実態は

高宮議員 新規学卒者及び若年者の就職を促進する支援事業の効果はどうか。また資料でも途中退職とあるが、その理由は。

地域振興課長 ほとんどが一身上の都合と言うことで、約3割の方が退職している実態もある。人手不足と言うばかりではなく職場環境を良くした中で人材確保を図り離職者を少なくしたい。

寺の前公園整備事業 (都市公園再編事業)

高宮議員 公園整備基本計画が検討されている最中だが、その中で寺の前公園を1億円かけて整備しようとしている。この計画では、「町の中核となる公園は寺の前とします」とあるが、常任委員会でも問題となっている。

公園計画が未だ策定されていない中で、寺の前公園整備の位置づけは。

建設課長 策定中の計画案では、子育て世代が週末に利用できる遊具などの遊び場を備えた核となる公園として寺の前公園を予定している。公園の利用が最も多い幼児から高校生までの世代において公園に遊具を設置する声が多く寄せられており、こども議会でも遊具設置の提案もされ、平成29年度事業計画に交付金を活用できる都市公園整備事業として計画した。

高宮議員 以前この場所に遊具を設置して遊び場にしてはと同僚議員にも相談したが、寺の前は自然の森として保存していくということだった。何故、今になってと疑心暗鬼だ。公園整備基本計画も再検討すべきと考えるが、計画が策定されてからでもないのでは。

副町長 寺の前だけを整備するものではない。色々な形で整備を図っていくというような公園整備計画となっていくものと思っているので理解いただきたい。

寺の前公園整備事業 (都市公園再編事業)

安部議員 都市公園再編事業について、建設課としてこういった役割を担い、どのように進めていく考えか。

建設課長 整備内容、遊具などは子育て世代や使用年齢に応じたアンケートの実施PTAや学校との意見交換を交えながら整備を進めていく。

安部議員 遊具はどのようなものが必要なのかなど、町民ニーズの把握はとても難しい。遊具選定についてプロジェクトチーム、或いは検討委員会の設置も必要と思うが。

建設課長 使用する子ども達のアンケート等を重点的に行って遊具を決めたいと考えているため、設置する考えはない。

ジオパーク拠点施設 整備事業は

安部議員 費用対効果、ジオ目的の来客数、建設

後の周辺地域の活性化にどうつながるのかなどの調査はしているのか。

観光課長 費用対効果の数字的な調査はしていない。ニーズや活用のあり方も含め数値把握はこれからやるべきと考える。

安部議員 港周辺の整備計画が今年度中に策定されるが、計画の中でジオ拠点施設をどうするのかを決めるべきと考えるが。

観光課長 本来は港周辺整備の具体的な計画があつて、その中で施設の役割等を示しながら進めていくべきと思う。後付けのような格好になるかもしれないが、まちづくり談義の中で町への影響力を考えながら、まちづくり計画を作っていると認識している。

木質ペレット製造施設の 事業費内訳は

村上(謙)議員 来年度のペレット販売収入484万円の製造予定量と、今年度の製造量は

何トンになる予定か。

農林水産課長 来年度は110トンの製造予定で、販売収入はトン単価4万円で消費税込み484万円を見込んでいます。今年度10月から本格稼働したペレット製造予定量は100トンから110トンを見込んでいます。

造するのに一ヶ月の稼働でまかなえる。ペレット製造施設は、総合戦略の中で安定した雇用創出の位置づけとなっているが、一ヶ月しか稼働を要しない施設では雇用の創出は無理ではないか。

副町長 民間企業によるペレット発電計画も協議中であり、近い将来発電施設ができれば年間800トン生産でき、十分採算が取れる施設となる。



木質ペレットの利用促進を

水産加工場建設調査事業費の少額予算の理由は

村上(謙)議員 建設調査検討委員会開催費5万3000円のみ計上されているが、これでは水産加工場建設に向けた実証試験や先進地の視察等はできないのでは。

農林水産課長 平成28年度にマアジの冷凍出荷等の実証試験を行ったがその後、建設・運営主体を民設・民営で行う議論において、誰がどこでやるか、何をやるか等で議論が停滞し、検討委員会での検討作業も進まない状況にある。



下水道の加入促進を

木造住宅耐震化促進事業は

村上(三)議員 木造住宅耐震診断助成の選定基準など事業の概要は。

建設課長 建築物診断助成は、緊急輸送道路にある三階建て以上の診断が義務付けられている建物2件は町が行い、二階建て以下の木造住宅は住民の申請によって行うもので、29年度は9件、28年度は8件の申請があった。

下水道事業は

村上(三)議員 下水道加入促進費の住宅改修資金貸付事業費4520万円の対象者と実施期間について。

上下水道課長 この融資資金は金融機関が融資するもので、4520万円は町が預託し、貸し付けを受ける対象者は所有者及び同意を得た使用者で供用開始から3年が要件である。

農林水産業費の多面的機能支払い事業とは

村上(三)議員 資源向上活動組織、農地維持活動組織、資源向上活動組織の三組織の違いと特色は。

農林水産課長 この事業は農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下や共同活動の困難化により、農業・農村の有する多面的機能が脆弱化することを防止するため、地域の共同活動にかかる支援を行い、農用地・水路・農道等の地域資源の適切な保全管理を推進するものである。

地域商業等支援事業費補助金は

村上(三)議員 対象小売店の選定基準及び、関係事業者との協議・同意に関する状況は。

地域振興課長 この制度は、町内で開業や事業継続を行う中小企業者、または個人に改修費や広告宣伝費を支援するもので、平成26年度から実施しており、新年度は、関係事業者と商工会との協議で新たに三つの特別枠を設け実施する。

看取りの対応と予算の内容は

で、平成26年度から実施しており、新年度は、関係事業者と商工会との協議で新たに三つの特別枠を設け実施する。

看取りの対応と予算の内容は

福田議員 隠岐病院看取り待機医師賃金が新規で中村・布施診療所に計上されているが、五箇・都万診療所にはない。その理由と予算1万円の内容は。

中出張所長 中村・布施診療所は看取り待機を隠岐病院医師に依頼した事例はなかったが、看取り制度は必要で、隠岐病院医師に依頼するため計上した。五箇・都万診療所は代診賃金の中で対応している。

また、1万円の中身は1回2000円、5回分である。

福田議員 診療所医師の過重労働に配慮し、土日夜間の往診はしないが、看取りだけは診療所医師が対応するのでは

いか。

保健課長

医師が出張等で不在時の診察は、各診療所間で調整し、看取りが発生した場合の対応は現在も実施している。

各診療所間で調整できない時には、隠岐病院医師に依頼している。

有木小学校大規模改修事業は

池田(賢)議員 昨年度、当初予算に改修事業費を計上し、国庫補助金が不

採択となったという理由で事業が中断されたが、本年度は、事業費が確定されて計上したもののか。

総務学校教育課長 昨年と同様、確定されたものではない。4月20日頃に内定通知があると考えている。工期等を含め、本年度早期に着工したいので当初予算に計上している。この事業は早期に実施すべきであり、改修事業が確定できるよう、県に要望している。



地域医療の連携強化を

武道館の柔道畳の更新は

池田(賢)議員 柔道連盟公認の畳に100畳更新するとあるが、4月20日・21日に開催される隠岐少年武道大会までに整備できるのか。

社会教育課長 大会開催までには準備できるような努力している。残りの場外部分の公認畳についても次年度に更新を考えている。

特別職の給与等に関する条例の一部改正について

西尾議員 これまで条例改正で町長・副町長・教育長の給与を減額してきたが、特別職報酬等審議会に諮問したことはあるのか。

総務課長 5年前の平成26年2月に審議会を開催し、諮問をしている。その時の答申が現在の額で、それ以降、審議会を開かずこの減額率を適用



新しくなった武道館の畳

している。その都度、報酬審議会を開催すべきだったと考えている。平成31年度には、町長以下三役の給与や手当を審議会に諮問し、その時に今回の減額率についても議論していただきたいと考えている。

教育用パソコンの更新は

西尾議員 平成32年度からプログラミング教育がスタートするが、そのための更新か。

総務学校教育課長 ウィンドウズの更新に対応するためで、プログラミング教育のためではない。

西尾議員 今回の当初予算の中でプログラミング教育に関する準備や研修費が計上されていない。平成32年度から始まるものを、いつ準備するのか。

総務学校教育課長 学校毎の対応も様々なので、平成31年度に学校と協議しながら検討し、平成32年度に向けて整備をしたいと考えている。

小中学校のエアコンの運用は

西尾議員 6月から普通教室のエアコンが運用されるが、運用マニュアル作成や学校への指導はどのように行うか。

総務学校教育課長 現在、ストロープや職員室等のエアコンの使用については教育委員会で運用案を学校に通知している。普通教室のエアコンは、適正温度や使用方法について運用マニュアルを作成したいと考えている。

介護職従事者支援対策事業の現状は

米澤議員 要介護者の増加と人材不足により、福祉現場では事業の一部廃止を余儀なくされた事業者もある。この危機的な現状をどのように認識しているのか。

福祉課長 労働・職場環境などの整備が大切である。就労する際の三年間新規就労者に対する助成事業を計画している。

米澤議員 隠岐広域連合では人材確保のために、担当職員の配置・隠岐サテライトオフィス・就業

担当窓口の設置を新たに計画している。広域連合や関係機関との連携強化の具体策は。

福祉課長 広域連合・島前三町村と連携を強化し、情報発信に努める。

駅鈴が結ぶご縁交流事業とは

米澤議員 駅鈴が結ぶご縁交流事業の狙いと目

的は。

社会教育課長 全国に唯一存在する「隠岐國駅鈴」を情報発信し、松坂市・浜田市との文化交流の可能性を探っていく。

米澤議員 国宝に指定されたこともある駅鈴は本町の貴重な文化遺産である。玄関口である港周辺にモニメントを設置すべきでは。

町長 文化交流を進める中で、モニメント設置を検討すべき時もあるものと考えている。



松坂駅前設置されている駅鈴のモニメント

町政を問う! 一般質問



問 議員質問 町長 町長答弁

今回は7人の議員が一般質問を行い、活発な議論が展開されました。紙面上、質問と答弁は要約した内容となっております。全文記録は議会事務局にあり、ホームページにも掲載いたします。またYoutubeにて一般質問の動画も公開しております。



ひら た ふみ お 議員
平田 文夫

問 昨年の12月21日、「まち・ひと・しごと

創生総合戦略2018」の改訂版が政府から示された。

取り組み内容は、「わくわく地方生活実現政策パッケージ」を着実に実行することを求めている。

特に、女性・高齢者等の活躍による新規就業者の掘り起こし、「子育てが一段落したので就業したい。」「会社引退後も就業を通じて社会と接点を持ちたい。」といった女性や高齢者等の希望を叶えるとともに、中小企業には人手不足の解消を求めている。町長はどの様な指示をしたか。

町長 県から正確な情報を得ていないので確認次第、指示をする。

問 平成27年度に、隠岐の島町は「まち・

Q 総合戦略の検証は。

A プロジェクトチームで評価している。

ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、事業を実施している。これらの事業の検証を行ったのか。

町長 交付金を活用してUイーターナーや観光客等の増加に繋がる5つの事業を実施した。事業評価については、「隠岐の島町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定プロジェクトチーム」において評価し、全員協議会で説明している。

問 島根県は31年度予算編成に当たって各事業の見直しを行っている。その事業の総数は18

6事業、その内28事業は廃止し、4億円の自主財源を確保し、31年度予算では、21新事業を追加計上し、2億円を充当し、2億円の自主財源を確保している。その結果は、県議会に報告し、県民にはネットで配信しているが、本町でも報告すべきでは。

町長 ご指摘の県の検証結果は承知しているが、まだまだ我が町では深く職員に浸透していない。指示しなければならな





よねざわ 米澤 とししげ 寿重 議員

問

1月8日に本町の蔵田海岸に北朝鮮籍とみられる木造船が漂着した。更に4日後には本町沖合の排他的水域海上に数人が乗った北朝鮮籍とみられる漁船の漂流が発見された。

本町の海岸に接する住民は何時侵入するかわからない上陸者への不安を募らせている。今後、漂着船の更なる急増が危惧されており、懸案となっている大型巡視船の本町への配備や海上警備の強化を国に強く求めるべきではないか。

町長

海上警備体制の強化については要望活動を行ってきた。今後とも隠岐島沖合の監視体制の早期強化を国に強く求めている。

問

北海道松前町への上陸者の数人が結

Q 海上警備の強化を。
A 監視体制の強化を強く求める。

核に感染しており、上陸者の早期発見が急務となっている。警察・海上保安庁と連絡を密にし、沿岸周辺の住民・漁協などが連携し、情報収集に努めるべきである。特に戸締りの徹底・感染予防対策の周知徹底を図るべきではないか。

町長

隠岐島後地域危機管理連絡会議を組織し、敏速な情報共有や対策に努めている。

また、広報誌等で注意喚起を行い、特に沿岸付近住民の安全確保を図る。

問

今後、漂着船は急増する恐れが危惧されている。漂着船の撤去・処分費用財源を特別交付税等により、国による全額負担を強く求めるべきではないか。

町長

人が乗ってきた漂着船は「海洋ゴミ」なのかどうか判断が難し



境港に配備されている大型巡視艇「おき」



あべ だいすけ 安部 大助 議員

問

今後のまちづくりには職員の提案能力が必要であり、住民協働という観点から職員提案制度の再構築をすべき

Q 事業評価プロジェクトチームの設置を。
A 設置の考えはない。

問

本町の評価システムを検証すると評価・改善というより査定に近く、まだまだ課題がある。今後、事業の評価・改善を徹底させてプロジェクトチームを設置し、定期的

Q 補助金・委託事業のガイドライン策定を。
A 各種団体ごとに策定すべきと考える。

問

極めて厳しい財政状況の中、効率的・効果的なサービス提供を図るために、補助金や外部委託のガイドラインを策定し、さらにPFI手法を取り入れていくべきでは。

Q 職員の人材育成と職場環境の改善を。
A 人材育成実施計画を推進する。

と思うが。また、職場環境についても、職員の意識改革を促し、能力を最大限発揮できる環境にすべきでは。

町長

今後、人材育成実施計画を着実に推進し、行動できる職員の

町長

評価システムの委員会は完璧でないと理解している。今後、改善すべき点は改善していく。

評価・改善は現場を把握した所管課が行うべきと考えており、プロジェクトチームの設置は考えていない。

町長

一律でなく、各種団体ごとに基準は策定すべきと考える。PFI手法の重要性は理解しているが、まずは連携の方法を講じていく。

PFIとは

公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うこと。



村上 謙武 議員
むらかみ かねたけ

Q 第三セクター(株)あいらんど解散時の債務超過額の対応は。
A 本町にその責務はないと判断している。

問 解散時の債務超過額約6200万円

問 (株)あいらんどは平成30年3月末に解散となったが、会社の清算手続きはどのような形で行われたのか。また、債権者に対する弁済の進捗状況と清算手続の見通しは。

については、解散前の町の説明の経緯から判断し、町は債権者に対して全額支払う責任があると考え

町長 清算人に確認したところ、通常清算により、今年度末を目途に進めている。

町長 解散時の債務超過額については、(株)あいらんど内における運用上の問題であり、本町にその責務は無いと判断している。

町長 関係書類等の精査を行った結果、書類の不備なものや会計検査受検のために作成されたと思われる資料があるなど、適正に実施されたと確認が持たず確認ができない事業の取り扱いについて県本庁、隠岐支庁と協議を進めている。

Q 離島漁業再生支援事業の精査と報告は。
A 書類の不備や会計検査受検のために作成されたと思われる資料があった。

問 町はこれまで、平成25年度、26年度の2年間についても会計書類や関係帳簿の精査を行い、使途が不明な支出や、執行が明確でない事業等の有無を改めて調査すると明言してきたが、精査の結果と報告についての状況は。

町長 関係書類等の精査を行った結果、書類の不備なものや会計検査受検のために作成されたと思われる資料があるなど、適正に実施されたと確認が持たず確認ができない事業の取り扱いについて県本庁、隠岐支庁と協議を進めている。

町長 事業約400件のうち97件あったが、事業費の総額については最終的に確認できていない。今後引き続き国や県の指導を仰ぎながら対処する。

町長 短期被保険者証の交付は98世帯、資格証は0世帯である。



村上 三三郎 議員
むらかみ みさろう

Q 国民健康保険制度の運営状況は。
A 適正に取り組んでいる。

問 県一本化後の国保料額の上昇傾向と、その他の影響は。

町長 平成27年度以降は税率改定は行っていない。

町長 制度改正後も市町村で賦課しており、影響は無いと考えている。

問 国保料の低減のための施策は。

町長 国保税の低減のためは、本町では被保険者の減少により総医療費は減少しているが一人当たりの医療費は年々増額している。医療費適正化のための事業として、特定健康診査・特定保健指導をはじめ糖尿病の重症化予防事業など様々な保健事業に取り組んでいる。

また、「高額療養費制度」は世界中から嫉妬されている(以下略)これはある書物からの引用だが、現在全国で高すぎる国保料に住民の悲鳴が上がっている。国保に対する国庫負担を抑制し続けたことが国保料上昇の要因だと考えられる。保険料の滞納者への罰則規定とその実施状況は。



進んで受けよう健康診断



いし ばし ゆういち 議員
石橋 雄一

Q 第2次総合振興計画の進捗状況は。
A 工程表に従い推進している。

町長 審議会の設置は4月にずれこんでいる。現行計画の検証作業は予定通り行われている。

問 プロポーザル審査の結果、(株)エブリプランが選ばれているが幾ら支払う予定か。

町長 30年度は561万円、31年度は814万円である。

問 審議会設置、現行計画の検証等は工程表通り進んでいるか。

問 議会との関わりが一方的な報告のみになっているが議会は意見・提案はできないのか。

町長 見直しを行い、今後開催される議会において、進捗状況を報告し、議会の意見・提言を聞きたいと考えている。

Q 道の駅整備事業の進捗状況は。
A 実施期間の見直しをしている。

問 第2次観光振興計画の道の駅整備事業の進捗状況は。

町長 新庁舎建設、ジオパーク中核・拠点施設整備などの事業が続くこと、具体的な事業プランの策定、民間活力を補助する手法の検討、国の補助金の財源調査など事業計画審査の中で計画の再精

問 それらをクリアしてから計画書に載せるべきではないか。

町長 私自身も当事業の必要性は認識している。もう少し事業内容を詰めてゆく必要があると

問 オンリーワン、隠岐の島町ならではの視点について考えているか。

町長 他の自治体の施策にとらわれない、本町独自の将来像を描き、政策を展開したい。



にぎわう道の駅(奈良県大淀町)

考えている。再度精査して検討したい。



まえ だ よしき 議員
前田 芳樹

Q 臨時職員の処遇改善を！
A 現在、準備を進めている。

問 町のお知らせ便で40名を越える臨時職員募集の公告があった。臨時職員は賞与も退職金も昇給もなく、1年という短期の解雇では、希望が持てるはずはない。

平成30年4月1日時点での正規職員総数は273人で、臨時職員は約70人。一人当りの人件費は正規職員と比較して大きな差がある。

職員給与の減額も視野に入れて正規職員数の増加も検討するべきではないか。

現在、正規職員の年齢構成は逆ピラミッド形態であり、近い将来、急激に職員数が減少して住民サービスの低下を招くことになる。役場で働く人々の雇用格差をなくし適正な職員数を維持して行くために、1年短期雇用は止めて、臨時職員にも正規



臨時職員の処遇改善を

職員採用に続く登用の道を設け、家庭を持って子育てができる水準までの処遇改善の方策を計画的にすべきではないか。

また、今後10年間で等級5、6、7級の166人が退職すれば大幅な職員採用数の増加が必要になる。

島を支えて行く若い世代の臨時職員採用は減らし、正職員にして行く方策を企画実行してはどうか。

町長 平成32年度から地方公務員法の改正により臨時非常勤職員の処遇改善が制度化される。本町も実施に向けて現在準備を進めている。

退職不補充の措置を取ってきたためにいびつな年齢構成となっているがこれから数年は、その是正も含めた採用計画を策定している。

早急に教育環境の整備を！

審査の状況・結果

より積極的な取組みを

◆小学校施設整備費

学校施設の老朽化に伴い、施設の長寿命化計画の策定や、各小学校の改修を行うものだが、それぞれ各学校の改修・修繕工事内容が不明確であり詳細な資料の提出を求め理解を深めた。

また、有木小学校の大規模改修工事は、本年度学校施設環境改善交付金
が不採択となったことから緊急を要する校舎屋根の改修工事とエアコン改修工事を単独事業として対応し、新年度、引き続き大規模改修工事費2億8000万円余りが計上されている。

委員からは、「昨年の二の舞を踏むのではないか。」「採択されてから補正対応すべきでは。」「児童の安全

要綱等を定め対応を

◆介護職従事者支援対策事業費

新規事業の「福祉・介護職員処遇改善助成金事業」や、「介護職員等子育て支援代替職員費補助金」制度は、福祉・介護職員等の定着化や離職防止を図り、人材確保を図るものであり、一定の評価をする。今後、補助金交付要綱等を定め、適切に対応するよう指摘した。

積極的な事業展開を

◆社会福祉協議会補助金

社会福祉協議会補助金の増額は人件費を増額したことによるもの。
委員からは、「人件費全

総務教育民生常任委員会に付託された一般会計及び各特別会計予算、条例改正などの議案は審査の結果、全て「可決すべし」としたので、主なものを報告する。

額を補助金としていつまでも町が負担するのは如何なものか。」「社協も更に事業展開し、自主財源を確保すべきではないか。」「この意見もあり、町社会福祉協議会も積極的に事業展開に取り組みよう、町として指導すべきと指摘した。

また、昨年末にスタートしたシルバー人材センター事業は、平成31年度は約600万円の事業費に対し町補助金216万円が計上されている。

事業目標は、現在の会員数32名を100名に、受注件数150件とし、更に、事業調整をはかるためにコーディネーター1名を配置する計画となっている。

委員からは、「昨年末スタートしたばかりで、コーディネーターを配置するのは早計ではないか。」「軌道に乗るまで社協職員が努力すべきだ。」「等の意見があった。

当委員会は、当面は社協職員で対応し、コーディネーターの配置は社協と協議するよう指摘した。

調査事項

計画の見直しを

◆公園整備基本計画書(案)

本計画は、少子高齢化が進展する中、持続可能で適正な維持管理が図れるよう中期的な公園整備基本計画を定めるとし「町民の憩いの場としてだけでなく、観光・交流の場として利用できるように」としている。

当委員会では、策定委員会での検討経過やパブリックコメントの状況、その対応等について説明を受けた。

委員からは、特に、整備方針の中で「町の中核となる公園整備方針」について多くの意見・指摘があった。



新しくなった布施児童公園

あった。

主な内容は、「何故、中核となる公園が必要か。」「中核となる公園の理由が明確でない。」「隠岐の魅力は海であり、観光・交流の場をというのであれば、あいランドパークの方

が良いのではないか。」「寺の前は自然公園で良いのではないか。」「公園整備計画が完成していない中で、寺の前公園の整備は問題だ。」「など、多くの意見・指摘があった。

本計画書は、3月末完成するとのことだが、内容的にも多くの問題・課題もあることから、計画を見直すよう要望した。

各計画の報告を速やかに

◆教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書(平成29年度分)

本町には多くの計画があるが、近年、評価する時期が遅れ気味になっていると思われる。

本教育に関する報告書も当委員会でも再三指摘してきたが、今定例会での報告となり、報告書を作成するのが目的となっているのではないかと危惧している。

特に、近年はPDCAサイクルの徹底が重要視されている中で、その評価が、次年度に活かされることが重要であり、今後は、各種報告書の作成と報告を速やかに行うよう要望した。

大型遊具を備えた 中核公園の整備は？

審査の状況・結果

増額変更は慎重に

◆新庁舎建設・建築主体 工事の増額

庁舎附属棟5棟及び建築主体工事等で、追加工事費2億6920万円余の増額変更があった。

委員から「なぜ、入札後にこのような多額な宿泊費と渡航費を追加計上する事態となったのか。」「本体工事の設計段階で解る事柄ではないか。」「契約書に今回の増額変更に関する条項はどう扱われていたのか。」「予算の執行段階までに精査をして工事費の節減に努めるべきだ。」という質問があり、執行部から「入札時の積算では宿泊費等の経費は未計上であった。入札前に業者から、宿泊費等に関する質疑の提出があり、宿泊費・渡航費は受注後

の変更協議としたいと回答していた。実施段階での減額余地はある。また、高価な舗装はなるべく減らしたい。」との答弁があった。

委員会としては、質疑書で入札後に変更協議をする約束があったこと、公共工事の品質確保の促進に関する法律で適切な設計変更をする義務があること、工事を停滞させないこと等により可決すべしとした。



整備が進む新庁舎建設予定地

産業建設常任委員会に付託された一般会計及び各特別会計予算、条例改正などの議案は審査の結果、全て「可決すべし」としたので、主なものを報告する。

再び、配慮不足による多額な増額変更という事態を生じさせないよう強く指摘した。

大型遊具の公園は

◆都市公園再編事業・寺の前公園整備事業

今年度1億450万円、来年度1億円をかけて行う公園整備事業である。

委員からは、「この場所で行う公園整備事業でなければならぬのか。」

「中核公園として適正なのか。」「どのような経過で寺の前にしたのか。」「もっと良い場所の選定をするべきではないか。」など多くの意見があった。

担当課からは、「隠岐の島町公園整備基本計画検討委員会において、寺の前公園にという話が出た。現段階では場所の変更はできかねる。」などの返答があった。

また、町長からは、「子ども議会で2度要望を受けた。休日に家族でゆっくり遊べる、大型遊具を設置した中核となる公園を整備したい。本町のどこからも行ける中心部に早く設置したい。総合戦略に基づいた他の公園についても順次整備を進めたい。」との説明があった。

委員会は、町長の意図と事業実施への考え方を理解し、承認した。

玄関口の活性化を

◆ジオパーク中核拠点施設整備事業

「これまで事業費は9億5900万円としてきたものが、なぜ、15億2000万円まで大きく膨らんできたのか。」との委員からの指摘に対し、「大きな地中障害物の処理費用が多額になった。展示物作成業務費が増加した。」との答弁があった。

委員会としては、今回の拠点施設が西郷港玄関口の活性化になり、また、早期の完成が待たれているとして、進めるべきとした。

調査事項

丁寧な説明と迅速な進行を

◆愛の橋の架け替え

当委員会では早期の事業実施を促して来たが詳細設計までの事業費63

下水道接続率の向上を

◆公共下水道の加入率

現在、公共下水道の加入率が伸びていないとの担当課説明があった。

委員会としては、加入促進のためには自治会の場合の説明努力をもっと行い、接続費に対する制度融資80万円の上限を引き上げることも検討しながら、一層の努力と工夫をするよう指摘した。



いよいよ着工へ・・・

反対討論

地域の活性化に寄与する
公園整備計画を！

村上 謙武

都市公園再編事業費1億450万円の事業に関する説明が担当課からあったのは、定例会の始まる直前であったため、当該事業に関して熟議する時間がなかった。また、公園整備基本計画策定検討委員会の検討内容等を見る限り、「地域のニーズを踏まえた都市公園の効率的・効果的な整備・再編を通じて子育て支援、高齢社会への対応等により、豊かな生活環境の整備に寄与する。」という、国交省が目的とする成果が十分に得られる事業内容とは思えない。

都市公園に期待される効果として、観光振興や地域経済の活性化が掲げられており、特に観光振興や地域経済の活性化を図ることが本町の重要な施策の柱であることを考え

た場合、寺の前公園整備事業を改めて見直すべきであり、現行の計画で新年度事業を実施すべきではないと判断し反対する。

ジオパーク中核拠点施設の再検討を！

安部 大助

今回、地中のコンクリートなどの撤去作業、展示物のグレードアップなどにより当初の約9億6000万円に5億円が増額され、2ヶ年に渡る総額15億円の事業になった。ジオパーク中核拠点施設

設の必要性は理解しており、昨年度の9億6000万円の建設費にも賛成した。

しかし、今回の大幅な計画変更はこのまま継続するレベルではない。なぜ、今になって展示物のグレードを上げるのか、問題のある地盤に施設を建設できるのかなど疑問である。また、建設後は多額な維持管理費が発生し、新たな財政負担になる。

一度立ち止まり「まちづくり整備計画」に沿って今までの検証を含め、身の

丈に合った施設を再検討すべきであり、反対する。

寺の前公園整備事業に課題あり！

高宮 陽一

本町では、平成27年に「隠岐の島町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、具体的施策として「隠岐の自然を活かした遊び場づくり」が掲載されている。

その概要は、「設置場所は中心部から交通インフラが整備され駐車場も完備していること、また、採算性からも自然体験・食事・バーベキュー・宿泊等、一体化した複合施設が望ましいことから現在の都万アイランドパークが望ましい。」とある。

このような総合戦略の趣旨を活かして隠岐の島町公園整備基本計画が策定されるべきだが、「寺の前ありき」という形で整備計画が策定されようとしており課題が残っている。

公園を整備することに

反対はしないが、寺の前公園整備事業は、総合戦略との整合性をもって、もう一度しっかりと検討して取り組むべきであり、反対する。

賛成討論

島の中心位置に
公園整備を！

遠藤 義光

この事業の財源は国の社会資本整備総合交付金と地方債の都市公園再生事業債のそれぞれ50%の採択を受けて行うものである。

予定地周辺はジオサイトで沢山の人が訪れ散策などを楽しみ、公園にはグループや親子連れなどの微笑ましい光景を目にする。島であることを忘れさせる雄大な山々に囲まれた癒しの空間でもある。

事業説明を受け、都市公園の位置付けに基づく国の事業採択であり、他の公園整備を妨げないことが理解できる。

子ども議会からの提案に町長も共感し、島の中央に位置し、沿線からも一望できる広大な寺の前公園を大規模な遊具公園として整備することに賛成する。

一日でも早くジオパーク
拠点施設の完成を！

遠藤 義光

この事業は、港埋め立て造成地における岩塊、コンクリート塊の存在が判明して、事業費が増額となる設計変更が余儀なくされたものである。

西ノ島町、知夫村では拠点施設の建物は既に完成している。

隠岐の島町だけ取り残されており、決して良い状況とは言えない。これ以上の遅延は好ましくなく、一日も早く完成すべきであり、賛成する。



空から見た都万あいランドパーク

竹島対策特別委員会

特別委員会は本定例会会期中の3月7日に委員会を開催した。

1月31日に行われた竹島要望活動では、長谷成人水産庁長官を初めとする政府関係機関及び地元選出国会議員等に、竹島領有権および周辺海域における漁業秩序の早期確立について期成同盟会とともに要望活動を行った。

2月22日に松江市の島根県民会館にて「第14回竹島の日記念式典」が開催された。午前中には竹島問題を語る国民交流会が開催され、超党派国会議員、県議会議員をはじめ隠岐の島町久見地区住民、一般市民もグループディスカッションに参加し、有意義な意見交換会となった。

記念式典には政府関係者から安藤裕内閣府政務官、他県国会議員では稲田朋美元防衛大臣など14人の国会議員が参加し

た。後半の講演では関西大学法学部教授中野徹也氏による「国際法による竹島問題の解決」、拓殖大学国際学部教授下條正男氏による「竹島問題と日本海呼称問題」との二つの講演が開催された。

3月7日の委員会では、久見竹島歴史館への来館者数の報告や、昨年からテーマにしていた啓発の啓看板は本町庁舎に3月

中に設置する。また、看板についての報告が執行部からあった。また、久見竹島歴史館では来場者に啓発缶バッジを無料配布、今後は「メチのいた島」のイラストを活用したいとのことである。

今後も引き続き、日本固有の領土である「竹島」の領有権確立に向けての調査とともに、国・県への陳情や活動に取り組む。



新たに役場に設置された啓発看板

皆さんからの陳情や要望

番号	件名	提出者	付託委員会	審査結果	理由
要望	県道316号線の拡幅工事の早期整備のお願い	歌木地区 区長 福本 和夫 (株)タキモト建設 代表取締役 瀧本 泰隆	産業建設 常任委員会	採択	当該道路の幅は狭く、早期の拡幅工事が必要であるため
配付	憲法9条の改正に関する要望書	兵庫県丹波市 岩崎 政義			
要望	うしろがし 後柄足の舗装工事について	津戸地区 区長 古川 公平 津戸地先漁場管理委員会 代表 濱田 利長	産業建設 常任委員会	採択	環境保全のためにには必要であるため
配付	地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出	日米地位協定を見直す会 共同代表 難波 希美子			
配付	平成25～26年度隠岐の島漁業集落再生支援交付金事業の会計処理調査報告について	島後の町と隠岐の国を元気にする会 代表者 門脇 誠三			
配付	森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書	一般財団法人 日本熊森協会 会長 室谷 悠子			
配付	政府に対し、沖縄県民の民意を尊重することを求める決議	沖縄弁護士会 会長 天方 徹			

採決の状況

賛成多数で可決された議案

件 名	大 江	村 上 謙	菊 地	石 橋	村 上 三	西 尾	池 田 賢	安 部	前 田	平 田	高 宮	米 澤	遠 藤	池 田 信	福 田
平成31年度一般会計予算	×	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×	○	○	欠	○

一般会計予算のうち、寺の前公園整備事業に反対・・・大江、村上(謙)、石橋、村上(三)、安部、平田、高宮
一般会計予算のうち、ジオパーク中核・拠点施設建設事業に反対・・・石橋、安部

全会一致で可決・承認された議案

第1回定例会

平成30年度一般会計補正予算(第5号)	国保事業勘定特別会計補正予算(第3号)
下水道事業特別会計補正予算(第3号)	後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第2号)
上水道事業会計補正予算(第3号)	行政組織条例の一部改正
国保税条例の一部改正	残土処分場の設置及び管理条例の一部改正
都市公園設置及び管理条例の一部改正	町長、副町長及び教育長の給与等に関する条例の一部改正
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	上水道事業給水条例の一部改正
布施児童公園設置及び管理条例の制定	リネンサプライセンター設置及び管理条例の廃止
辺地に係る総合整備計画の一部変更	過疎地域自立促進計画の一部変更
町道路線の認定、変更、廃止	建設工事委託変更協定の締結[西郷浄化センターの建設工事委託に関する基本協定]
工事請負変更契約の締結[公共下水道雨水排水路布設(港町その1)工事]	工事請負変更契約の締結[新庁舎建設建築主体工事]
工事請負変更契約の締結[新庁舎建設町民ホール建築工事]	工事請負変更契約の締結[新庁舎建設電気設備工事]
工事請負変更契約の締結[新庁舎建設機械設備工事]	工事請負変更契約の締結[30災266号油井4号線道路災害復旧工事]
平成31年度国保事業勘定特別会計予算	平成31年度国保施設勘定(中村診療所)特別会計予算
平成31年度国保施設勘定(五箇診療所)特別会計予算	平成31年度国保施設勘定(都万診療所)特別会計予算
平成31年度下水道事業特別会計予算	平成31年度駐車場事業特別会計予算
平成31年度訪問看護事業特別会計予算	平成31年度布施へき地診療施設事業特別会計予算
平成31年度五箇へき地診療施設事業特別会計予算	平成31年度中財産区特別会計予算
平成31年度後期高齢者医療保険事業特別会計予算	平成31年度上水道事業会計予算
【諮問第1号】人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	【諮問第2号】人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
県道316号線の拡幅工事の早期整備のお願いについての要望	後柄足の舗装工事についての要望

編集後記

5月1日の改元をもって「令和」の時代がスタートしました。本町議会も5月16日より新体制でスタートし、新時代に向けて更に活発な議会活動が求められると、改めて気が引き締まる思いです。

本誌は4月に編集作業を行っている関係上、旧体制の広報広聴常任委員会メンバーでの最後の発行になりました。平成29年4月から活動を開始し、2年間で議会タブレットの導入やインターネットでの一般質問動画の配信、議会広報誌の改善など、議会の活動状況が町民の皆様が届きやすくなるよう取り組みましたが、まだまだ十分ではありませんので、新体制で更に取り組んでまいります。

尚、5月の10連休の関係上、本広報誌の発行が遅くなってしまったことをお詫び申し上げます。

委員長 西尾 幸太郎
ご意見をお寄せ下さい

議会事務局

FAX(2)3396

【元号の表記について】

5月1日に改元されておりますが、本広報誌の記事では、3月定例会が開催された時点の元号である「平成」を用いております。